

個展のご案内

「蒔絵 室瀬和美—伝統を創る—」

2022年1月14日（金）～23日（日）

銀座・和光 本館6階 和光ホール

一千年以上にわたって日本に育まれてきた漆芸技法、蒔絵。漆を幾重にも重ね、金粉をさまざまに蒔くことで生まれるグラデーションは、まさに蒔く絵ならではの立体表現です。

「研出蒔絵は点描であり、立体画です」

そう語るの、漆芸の技法「蒔絵」の重要無形文化財保持者（人間国宝）の室瀬和美氏。東京を拠点に、漆とともに歩んで半世紀以上。創作と文化財修理の両輪によって培われた氏の作品は、精緻にして優美。自然をモチーフとした洗練された意匠、円熟した技から生み出される作品は、独自の品格をたたえています。

本展では、自然の情景を映した飾箱や茶道具、蒔絵とジュエリーが融合した装身具、大作の壁面作品ほか約30点を展示。華やかな金の世界あり、漆黒に徹した作品あり、「蒔絵」という深遠な世界を一望いただけます。

「伝統とは守るものではなく、『創る』ものである」という室瀬氏のもとで漆芸を学んだ、次世代の若手作家7名の作品も同時展示。漆とものづくりの新しい風を感じられる作品が一堂に会します。

つややかな漆黒、金のきらめき。あやなす美の結晶をご覧くださいませ。

▼主な出品作

乾漆蒔絵螺鈿盤「慧環」、蒔絵螺鈿方箱「実」、蒔絵螺鈿丸筥「華光」、乾漆蒔絵水指「精」、蒔絵螺鈿平棗「春陽」、蒔絵棗「夜桜」、蒔絵螺鈿香合「錦華」、壁画「春風」ほか 約30点

▼出品作家（五十音順）

室瀬和美

鷺野谷一平／樋渡賢／木石／室瀬祐／室瀬智彌／山田勘太／吉田秀俊

▼開催概要

展覧会名 蒔絵 室瀬和美—伝統を創る—

会期 令和4年（2022）1月14日（金）～23日（日）

開場時間 10時30分～19時（最終日は17時まで）

会期中無休

会場 銀座・和光 本館6階 和光ホール

〒104-8105 東京都中央区銀座4-5-11

TEL03-3562-2111（代表） www.wako.co.jp

アクセス 東京Metro銀座駅 A9・A10 出口より徒歩すぐ、B1 出口直結

【報道関係のお問い合わせ先】

めじろうるしがくしゃ
目白漆學舎 広報担当

〒161-0033 東京都新宿区下落合4-22-11

TEL03-3954-1815 FAX03-3954-1810 E-mail info@urushigakusha.jp

写真上から すべて室瀬和美作

上／蒔絵螺鈿丸筥「華光」 中／蒔絵螺鈿方箱「実」

下左／蒔絵螺鈿中次「夏風」 下右／乾漆蒔絵螺鈿盤「慧環」 ©photo Shirai Ryo

